

科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

162

国内格差是正策

英国では、主たる研究機関・投資・産学連携がロンドンを含むイングランド南東部に集中しており、それ以外の地域の活性化が課題であった。

欧州連合(EU)加盟時は、地域格差是正のための「EU構造基金」をその目的に充ててきたが、2020年1月末にEUを離脱した後は「レベリングアップ」政策を掲げ、単なる補助や富の再分配ではなく、研究開発投資に基づいた経済活動

を通じて、各地域を活性化する方針を打ち出した。

22年2月に発表した「レベリングアップ」白書では、国内の地域格差是正に向け30年までに政府が達成すべき12のミッションを示した。これに沿って、科学技術イノベーション関連各省は、研究開発基金「コミユニティー省」提供することを通じて、各地域を活性化することを挙げた。

世界と関係構築

「住宅・コミユニティー省」が改組されてきた「レベリングアップ」住宅・コミユニティー省」の投資向けに26億ポンドを提供する。また、21年9月に係するレベリングアップ白書のミッションを明示している(図)。

22年4月にEU構造基金に代わる「英国・海港を中心に、45ポンドのミッションを示とともに、政府は地域繁栄共有基金」を開始し、圏内まで広がるフリ

英、研究投資で地域活性化

科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センター フェロー(海外動向ユニット) 山村将博



東京工業大学大学院社会理工学研究科修了。08年JST入構。国際事業担当、産学連携事業担当を経て、NPO法人STSフォーラムに出身し国際会議運営業務に従事。18年11月より現職。主にEUの動向調査を担当。

投資優先課題とそれに関する「レベリングアップ」ミッション

大目標 投資 優先課題	地元への満足感を築き生活の好機を向上		
	コミュニティー・場	地域産業支援	人材・職能
白書掲載 ミッション	市街地や地域文化・コミュニティーに対する満足度の向上		
	健康寿命の地域格差縮小	国内全地域で給与・雇用・生産性向上、国際競争力のある都市の育成、地域格差縮小	同左
	ウェルビーイング向上	公的研究開発投資の増額、民間長期投資倍増、イノベーション・生産性向上の促進	高度職能の訓練普及
	犯罪・暴力減少		健康寿命の地域格差縮小
			ウェルビーイング向上

(<https://www.gov.uk/government/publications/uk-shared-prosperity-fund-prospectus/>より)

し、その一つに、「南に3カ所の「イノベーション」を創設する。東部以外の地域への公的投資を40%増額し、民間の長期投資を倍増しイノベーションと生産性向上を促進」することを挙げた。

「レベリングアップ」白書では、国内の地域格差是正に向け30年までに政府が達成すべき12のミッションを示した。これに沿って、科学技術イノベーション関連各省は、研究開発基金「コミユニティー省」提供することを通じて、各地域を活性化することを挙げた。

本構想の一環として、国内の重要かつ革新的な産業に対する海外企業の投資を促す「グローバル・ブリテン投資基金」の公募が22年4月から始まった。本基金はEU離脱で初めて可能となったもので、国内中小企業が、海外からの投資を得て、研究開発イノベーションを通じた地域活性化に貢献することが期待される。(金曜日掲載)